

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 365 事業名 生活衛生安全推進事業(専用水道等検査)

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
取組	1	生活衛生対策の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		環境衛生費
	大事業		環境衛生事業
事項		生活衛生安全推進事業	

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	生活保健課	辻 晃至 (433-2261)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
<p>専用水道事業とは百人を超える者にその居住に必要な水を供給する施設やその水道施設の一日最大給水量が基準を超えるものに対し、使用許可や事業計画に基づき衛生上の確保を目指す。簡易専用水道の設置者に対して一定の管理を行わせるとともに、定期的に保健所又は厚生労働大臣の登録を受けた者の検査を受け、使用者が安全な水質の水道を確保する。</p>	<p>専用水道の設置許可及びその設置施設管理者に対し衛生上調査及び指導を行う。簡易専用水道設置者は市に届出を行い、市は1年以内に1回、立入及び書類調査を行い、口頭及び書類にて衛生上の指導を行う。 簡易専用水道立入検査手数料 10,000円 簡易専用水道書類検査手数料 2,500円 (特定建築物に限る。)</p>				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	監視対象施設数 簡易専用水道 691件 専用水道 11件 計 702件	監視対象施設数 簡易専用水道 690件 専用水道 12件 計 702件	監視対象施設数 簡易専用水道 684件 専用水道 12件 計 696件		
	監視件数 簡易専用水道 609件 専用水道 1件 計 610件	監視件数 簡易専用水道 589件 専用水道 1件 計 590件	監視件数 簡易専用水道 597件 専用水道 3件 計 600件		
	監視率 86.9%	監視率 84.0%	監視率 86.2%		

2 事業コスト

事業費 千円	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度			
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	105	2,890	3,098	5,843	380	351	353		353		
	伸び率 (%)	-	-	2850.5%		-87.7%		-7.1%		0.0%		
	人件費	常勤職員	8,925	8,667	8,667	3,079	3,079	2,940	3,079		3,079	
		非常勤職員	428	626	626	0	1,009	1,009	1,009		1,009	
	小計	9,353	9,293	9,293	3,079	4,088	3,949	4,088		4,089		
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他	250	349	4,875	5,233	5,400	5,298	5,400		5,400			
一般財源(税等)	-145	2,541	-1,777	610	-5,020	-4947	-5020		-5020			
所要人数	常勤職員	1.16	1.18	1.18	0.41	0.41	0.39	0.41		0.41		
	非常勤職員	0.1	0.43	0.43	0	0.4	0.4	0.4		0.4		

3 目標及び実績

指標名及び達成状況						平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	監視数 (簡易専用水道)	年度目標値				691	690	684	684	684
		実績値				609	589	597		
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度	88.1%	85.4%	87.2%		
	監視数 (専用水道)	年度目標値				11	12	12	12	12
実績値					1	1	3			
単位	件	全体目標値		全体目標達成度	9.1%	8.3%	25.0%			
成果指標	監視率 (簡易専用水道) 検査数/全体数	年度目標値				100	100	100	100	100
		実績値				88.1	85.4	87.2		
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	8810.0%	8540.0%	8720.0%		
	監視率 (専用水道) 監視数/全体数	年度目標値				100	100	100	100	100
実績値					9.1	8.3	25			
単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	9.1%	8.3%	25.0%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	市民の飲料水に対する関心は高く、飲料水の衛生を確保するため、引き続き施設に対する監視・指導を図る。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	